

2025/10/11 演題発表報告

作成：リハビリ部 認定言語聴覚士 鹿内俊彦

令和7年10月11(土) 14:00~17:00、函館脳神経外科病院 多目的ホールで行われた第19回道南NSTネットワーク研究会へ参加し、演題発表をしてきました。

内容は「外来VFとフォローアップについて」と題し、VFから3か月後に電話をかけ、「あれからどうしてますか?」と現在の状況を聴取・確認すること、更に予想よりも順調に改善している方々には「これにもチャレンジしてみませんか!」と、追加で助言や指導を行ってみたことなどのフォローアップの経過と結果をまとめ、発表しました。発表終了後にはいろいろな方からお褒めのお言葉を頂き、自分達の取り組みが高く評価されたことで、今後もより一層頑張っていこうと思えました。

函館稜北病院では、地域高齢者の摂食・嚥下はもちろん、それに付随する栄養や口腔に関する支援にも積極的に力を注いでいます。もしご興味のある方はご一報ください。

道南NSTネットワーク研究会 第19回学術集会		
道南NSTネットワーク研究会 第19回当番幹事 森脇 寛		
日時: 令和7年10月11日(土) 14:00~17:00		
場所: 函館脳神経外科病院 多目的ホール (函館市神山1-4-12/ TEL: 0138-53-6111)		
参加費: 無料 (裏面の申込用紙にて期日までに事前申込をお願いいたします)		
*日本栄養治療学会認定資格 栄養サポートチーム専門療法士資格取得単位の対象ではありません		
開会の辞	第19回当番幹事	函館脳神経外科病院 森脇 寛 先生
【情報提供】14:05~14:25		
『インノブッド配合経腸用半固形剤』のご紹介 株式会社大塚製薬工場 福壽 尚大		
【教育講演】14:25~15:00		
座長: 社会福祉法人函館厚生院 ななえ新病院 診療部長 目黒 英二 先生		
「当院の回復期リハビリテーション病棟のGLIM基準とFIMの傾向、サルコペニア調査 —GLIM基準導入による多職種連携に向けて—」		
社会福祉法人函館厚生院 ななえ新病院		
リハビリテーション科 作業療法士 新開谷 まゆき 先生		
【一般演題】15:00~15:50		
座長: 社会医療法人函館厚生院 医療部栄養科 科長 古澤 恵子 先生		
演題Ⅰ 「g数より“いまの身体的負担” —多職種で共有できる減塩の新しい目安—」		
本古内町健康保険病院 内科 清水 秀和 先生		
演題Ⅱ 「多機能厨房の新設 ~協働支援システムの構築を目指して~」		
函館脳神経外科病院 栄養管理室 手塚 雅子 先生		
演題Ⅲ 「経口摂取に向けて行っている当院での新たな取り組み」		
函館脳神経外科病院 言語療法課 路奥 達也 先生		
演題Ⅳ 「外来VFとフォローアップの取り組みについて」		
道南勤医協 函館稜北病院 リハビリテーション部 言語聴覚士 鹿内 俊彦 先生		
演題Ⅴ 「摂食嚥下障害を合併した重度心疾患患者に対し、栄養サポートチームが関わった一例」		
函館五稜郭病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 田中 奈緒 先生		
演題Ⅵ 「当院のNST活動について」		
国立病院機構 函館医療センター 栄養管理室 竹内 海斗 先生		
《 休憩 10分 》		
【特別講演】16:00~17:00		
座長: 社会医療法人函館脳神経外科 函館脳神経外科病院 森脇 寛 先生		
「栄養療法とリハビリテーション」		
講師: 東京女子医科大学病院		
リハビリテーション科 教授 若林 秀隆 先生		
閉会の辞 道南NST研究会代表世話人 ななえ新病院 診療部長 目黒 英二 先生		
共催: 道南NSTネットワーク研究会・株式会社大塚製薬工場		